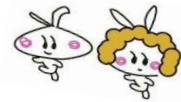


事業者向け自己評価表 アンケート（職員用）結果

令和3年度



事業所名： 放課後等デイサービス えんでこ2

		チェック項目	工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	1	利用定員と指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	活動内容によりパーテーションを有効に使用。活動場所の使い分けをしています。
	2	職員の配置は適切であるか	利用する児童に対応するため職員基準以上（資格保持者・経験者）を配置しています。
	3	事業所の設備等について、子どもたちへの配慮が適切になされているか	現在、段差や手すりを使用する児童はいませんが必要に応じて設置していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	日々の打ち合わせ、振り返りを必ず行い、支援の在り方について職員で共有。計画し実行、そして評価し、必要に応じて改善策を実行しています。
	5	保護者等向け評価表の活用等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	アンケートにて出たご意見を、職員で共有し、計画・実行しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価をホームページを通して公表しています。
	7	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	事業所内での全体会議は定期的を開催し、情報共有や支援の検討等行っています。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者との面談のほかに、日々の様子や学校での様子を、普段から情報共有し、加味したうえでサービス計画を作成しています。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	当法人のツールを使用しています。その上で支援の統一性と家族を含めた情報共有を行っています。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	職員各々が活動案を持ち寄り、全体で検討するよう努めています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	今年度は感染症で活動が制限されました。その中でも室内で多様な活動に取り組みめるよう企画提案と実施に努めてきました。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	児童の様子や情緒を配慮しながら個別、集団活動を計画しています。
	13	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援前には必ず打ち合わせをし、プログラムに沿った各職員の役割を確認しています。
	14	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	気づいた点や、活動の一部等、職員各々が持つ考えを出し合い、今後の支援に活かしています。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	えんでこ帳を正しく記入し、家族に説明できる体制をとっています。必要に応じて、支援を検証し必要に応じて訂正、次の支援に結び付けています。
	16	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	家族と評価を行い、次の段階に進むか否やを共有しています。

NO. 2	チェック項目	工夫している点・改善目標など
関係機関や保護者との連携	17 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児発言や担当者が出席しています。
	18 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	緊急時以外は保護者を介して学校と連絡・調整をしています。緊急時の場合は直接学校と調整し、後で保護者に連絡を入れています。
	19 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	緊急時、保護者に連絡し、必要に応じて医療機関に受診しています。
	20 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保護者を介して情報共有しています。
	21 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	障害福祉サービスへ移行した利用者がいません。
	22 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	参加しています。
	23 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳でのやりとりや送迎時にその日あったこと伝え、保護者との情報共有をしています。
	24 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	家族から相談を受けた際には、助言等の支援をしています。
保護者への説明責任	25 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	説明する際はできる限り分かりやすく伝えています。
	26 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談を受けた際には、助言等の支援をしています。必要に応じて面談も行います。
	27 父母の会の活動を支援したり、保護者会やNPO総会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	今年度NPO総会は実施していませんが、必要に応じてご家族の支援を行っています。
	28 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情対応体制は契約する際に確認。苦情やご意見があった際は、迅速な対応を心がけています。
	29 定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月1度、法人会報を発行。その中に各事業所の企画や予定を記載してあります。
	30 個人情報に十分注意しているか	個人情報書類は鍵付きのロッカーに保管。取り扱いには細心の注意を払っています。
	31 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているか	相手が理解してもらえるように、専門用語は使用せず情報を共有しています。
非常時等の対応	32 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	今年は特に感染症対策に力を注ぎ、喚起や消毒の徹底を行っています。正しいマスクの着用も心がけています。
	33 非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回の避難訓練の実施と、訓練を行う理由を、わかりやすく伝えています。
	34 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止に関する研修の実施は勿論のこと、普段からお互いに意見を出し合い、虐待を身近に感じてもらうようにしています。
	35 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束するまでの児童はいませんが、必要の時には最小限の拘束に留め、家族の了解を得ることと個別支援計画への記載をしています。
	36 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーは職員で共有し、提供することや調理することも控えるように配慮しています。
	37 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事例集は、毎日職員の目のつきやすい場所に置き、職員に必ず読むことを徹底しています。